

## 平成28年度第2回高梁市公共交通会議議事録（要旨）

日時：平成28年8月12日（水）13：30～15：00

場所：高梁市文化交流館 3F 第2、3講座室

資料：・会議次第、委員名簿、席次表

- ・高梁市地域公共交通再編実施計画概要とこれまでの経緯
- ・平成27年度高梁市地域公共交通会議決算書  
平成27年度監査報告
- ・松山城新規路線バスについて、時刻表、運行路線図  
利用状況集計表
- ・高梁市生活福祉バスの運行について、自家用有償旅客輸送について
- ・高梁市福祉移送サービス事業について、料金表、実績表、
- ・生活福祉バス・乗合タクシー実態調査実施計画概要、アンケート調査票（案）
- ・松原ふれあいタクシー案内（住民配布用）



### 1. 開 会

新規委員紹介・あいさつ（大原委員、加藤委員（小林氏代理出席））

会議成立報告

### 2. 会長あいさつ

### 3. 報 告

#### （1）高梁市地域公共交通再編実施計画について

大原委員：交通空白地域の定義は、どのようになっていますか。

事 務 局：高梁市ではバス停から半径400m圏外を交通空白地域と定めています。乗合タクシーの場合、自宅近くまで送迎しますので、運行区域内では、交通空白地域はゼロとなります。

#### （2）決算及び監査報告について

質疑なし

#### （3）備中松山城新規路線バスの利用状況について

新屋委員：この路線に乗務していますが、行きの第1便は、吉備国際大学の先生と学生さんがほとんどで、第2便以降を観光客が利用されています。この路線について、今後どのようにお考えですか。また、継続する場合の基準等はどのようにお考えですか。

事 務 局：来年度以降も継続する予定です。継続の目安は、現在の利用状況程度（現状の1便当たり平均3.6人）以上と考えています。

政森委員：帰り便の利用者が少ない理由のひとつとして、城見橋での待ち時間が長く、帰りは徒歩や他の交通手段で帰られるためと聞いています。帰り便の時刻をもう少し早くしてはどうでしょうか。

事 務 局：第2便で行くと、帰り便まで2時間以上あり、改善していきたいと考えています。

難波会長：交通会議とは関係ありませんが、待ち時間の間に観光客にお金を落としてもらうような施策も考えていく必要があると思います。

#### 4. 議 事

##### (1) 道路運送法第 79 条による自家用有償旅客運送（高梁市生活福祉バス、高梁市福祉移送サービス事業）の登録更新について

新屋委員：備中生活福祉バスは、スクールバスの一般混乗方式で運行されていますが、備中中学校の成羽中学校への統合に伴い、市としては、どのようにお考えですか。私見としては、スクールバスと生活福祉バスの併用で将来的には、一般の方も成羽まで利用できればと考えます。

事務局：現在、教育委員会と協議を進めているところであり、結論は出ていませんが、教育委員会としては、スクール専用バスとしての運行を考えています。市民課としては、将来的に生徒の減少により、車両に余裕が出てくれば、一般の方が利用できる混乗方式を考えていきたいと思っています。

平松副会長：福祉移送サービスと福祉タクシーの違い、人工透析での利用、市外への利用、以上 3 点についてご説明をお願いします。

事務局：福祉移送サービスの場合は、認定を受けた方がのみが利用できます。人工透析は、月 3 回まで、市内の病院に限定されています。福祉移送サービスは、市内限定となっていますので、市外の病院等への利用はできません。

難波会長：他にございませんでしょうか。それでは、高梁市生活福祉バス、高梁市福祉移送サービス事業の登録更新について、承認いただける方は、挙手をお願いします。

→挙手多数により承認

##### (2) 生活福祉バス、乗合タクシー実態調査について

三宅委員：回収方法が決まっていないようですが、全世帯を対象とするならば、運転手さんなどではなく、町内会等で決めたほうがよいと思います。

事務局：ありがとうございます。町内会長さんをお願いして、より良い回収方法に努めたいと思います。

宮長専門官：乗合タクシー、バス乗車時に乗務員へ提出となると、利用していない方の回収ができないので、避けたほうがよいと思います。

難波会長：他にございませんでしょうか。それでは、生活福祉バス、乗合タクシー実態調査について、回収方法については検討するとして、承認いただける方は、挙手をお願いします。

→挙手多数により承認

##### (3) その他

新屋委員：備中中学校の統合に伴い、新たに車両を購入するとのことですが、福祉バス、スクールバス、デマンドタクシーと、いくつもの公共交通を張りめぐらして、どれもしっかりした利用ができていないのが全国の実態だと思います。公共交通会議が成功していないのは、我々委員の議論ができていない、住民の理解を得ていないことにあると思います。ほんとうに公共交通が必要かということもアンケートで問う必要があると思いますし、問題提起して方向性を行政が誘導することも必要であると思います。

橋本委員：公共交通においては、税金が投入されることから金銭的にルーズになりがちな面がありま

す。税金投入については問題ないと思いますが、効果を検証する必要があると思います。アンケート調査票を拝見しましたが、調査の目的がはっきりしていません。また、生活福祉バスや乗合タクシーがあることで、どれだけ暮らしが楽になっているかといったようなプラス評価の設問もあってよいと思います。この機会にどう役立っているかを検証してみることも必要であると思います。

清水委員：この調査票では、アンケートの目的、どう整理し、どのように活かしていくのかがわかりません。また、問い合わせ先はありますが、実施主体はどこであるのかを明記する必要があると思います。

事務局：今日いただいたご意見を踏まえて練り直し、実施したいと思います。また、そのほかのご意見等ありましたら、事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。

政森委員：統合に伴うスクールバスの運行については、先を見据えて考えていただきたいと思います。

事務局：統合に伴うスクールバスの運行については、市全体の公共交通を見据えて教育委員会と協議を重ねていきたいと思います。

宮長専門官：6月末に岡山運輸支局に提出していただきました高梁市地域公共交通再編実施計画は、現在、本省、中国運輸局、岡山運輸支局で8月末を目途に内部審査中であることをご報告いたします。

事務局：次回の第3回交通会議は、11月下旬を予定しています。またご連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。

## 5. 閉会

平松副会長閉会あいさつ